

PCT/JP03/16696

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

25.12.03

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

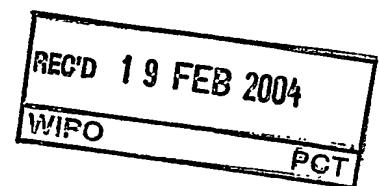
This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application: 2002年12月26日

出願番号
Application Number: 特願2002-377998

[ST. 10/C]: [JP 2002-377998]

出願人
Applicant(s): オリンパス株式会社

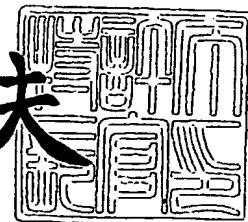


PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2004年 2月 5日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特2004-3006366

【書類名】 特許願
【整理番号】 02P02244
【提出日】 平成14年12月26日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 H04N 5/225
H04N 5/907
G03B 15/05
【発明の名称】 デジタルカメラおよびデジタルカメラ用レンズ鏡筒ユニット
【請求項の数】 5
【発明者】
【住所又は居所】 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号 オリンパス光学
工業株式会社内
【氏名】 藤井 尚樹
【発明者】
【住所又は居所】 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号 オリンパス光学
工業株式会社内
【氏名】 鷲頭 洋一
【特許出願人】
【識別番号】 000000376
【住所又は居所】 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号
【氏名又は名称】 オリンパス光学工業株式会社
【代理人】
【識別番号】 100076233
【弁理士】
【氏名又は名称】 伊藤 進
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 013387
【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【包括委任状番号】 9101363
【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 デジタルカメラおよびデジタルカメラ用レンズ鏡筒ユニット

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 被写体から見てカメラ右側に配置された撮影レンズ鏡筒と、
上記撮影レンズ鏡筒の被写体から見た左側の側面に、カメラ幅方向に垂直にな
るような向きで取り付けられた鏡筒側方電気基板と、
上記撮影レンズ鏡筒の背面に取り付けられた画像表示部と、
被写体から見てカメラ左側にその主平面がカメラ幅方向に沿うような向きで配
置され、内部に電池格納空間を具えた電池室と、
カメラ幅方向の中央付近の前面上部に配置されたストロボ発光部と、
上記ストロボ発光部の後側にあって上記電気基板と上記電池室とで挟まれて形
成された縦長空間に、当該縦長方向に長手方向を一致させる向きで配置されたス
トロボコンデンサと、
を備えたことを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 2】 上記電池室の前側にカメラ幅方向に沿うような向きに取り付け
られ、上記ストロボコンデンサの前側を覆うように配置され、一端が上記鏡筒側
方電気基板の基板面に近接するような電池室前側電気基板を備えたことを特徴と
する請求項 1 記載のデジタルカメラ。

【請求項 3】 撮影レンズ及び撮像素子を内蔵した撮影レンズ鏡筒と、
上記撮影レンズ鏡筒前側の 1 側面に当該撮影レンズ鏡筒側面より少なくとも一
部が突出するように取付けられた、上記撮影レンズを移動させるためのレンズ駆
動部と、
上記撮影レンズ鏡筒背面側に、上記撮影レンズ鏡筒背面に平行な向きで、かつ
その一部分が上記撮影レンズ鏡筒背面より上記レンズ駆動部が突出した方向と同
じ側面方向にはみ出すように配置された画像表示部と、

上記レンズ駆動部と上記画像表示部のはみ出した部分に挟まれた上記撮影レン
ズ鏡筒の側面にあって、上記レンズ鏡筒の側面に沿って配置された撮像基板と、
を備えたことを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 4】 上記画像表示部と上記レンズ鏡筒の背面の間に、さらに、上記

画像表示部と平行に、上記撮像素子が実装された撮像素子基板を取り付けたことを特徴とする請求項3記載にデジタルカメラ。

【請求項5】 撮像素子が実装された電気基板と、

上記撮像素子へ被写体像を結像させる撮影レンズを内蔵した撮影レンズ鏡筒と

、
上記撮像素子により得られた画像信号に基づく画像が表示される画像表示部と

、
を備え、上記撮影レンズ鏡筒の背面に上記電気基板を取り付け、さらに、上記電気基板を覆い、かつ、上記電気基板に平行に上記画像表示部を取り付けて一体化させたことを特徴とするデジタルカメラ用のレンズ鏡筒ユニット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、デジタルカメラの内部レイアウト及び構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来からデジタルカメラは、携帯性の点から外形サイズを小型化することが常に要求されている。その小型化に関して提案された特許文献1記載のカメラは、カメラ横方向（左右方向）にてカメラ左端側（被写体側から見て）から順に、電池、ストロボコンデンサ、メイン基板、撮影レンズをそれぞれ配置したレイアウトを有している。

【0003】

また、特許文献2記載のカメラは、カメラ横方向（左右方向）にてカメラ左端側（被写体側から見て）に電池を配置し、カメラの中央部に撮影レンズを配置し、さらに、カメラ右端側にストロボコンデンサを配置したレイアウトを有している。

【0004】

【特許文献1】

上記特許文献1は、特許公開公報平11-8786号である。

【0005】**【特許文献2】**

上記特許文献2は、特許公開公報平11-266377号である。

【0006】**【発明が解決しようとする課題】**

上述した特許文献1、または、2に記載のカメラにおけるレイアウトは、小型化を実現可能な配置を有しているが、カメラが本来有している機能を損なわず、しかも、カメラ内部の各構成部材のより効率的な配置に対して、必ずしも満足のゆくレイアウトとはいえない。

【0007】

本発明は、上述した点に鑑みてなされたものであって、その目的とするところは、デジタルカメラにおける内部構成部材の配置を効率的に行なって、カメラが本来有する機能を損なわずに小型化が実現可能なデジタルカメラ、および、デジタルカメラ用のレンズ鏡筒ユニットを提供するにある。

【0008】**【課題を解決するための手段】**

本発明の請求項1記載のデジタルカメラは、被写体から見てカメラ右側に配置された撮影レンズ鏡筒と、上記撮影レンズ鏡筒の被写体から見た左側の側面に、カメラ幅方向に垂直になるような向きで取り付けられた鏡筒側方電気基板と、上記撮影レンズ鏡筒の背面に取り付けられた画像表示部と、被写体から見てカメラ左側にその主平面がカメラ幅方向に沿うような向きで配置され、内部に電池格納空間を具えた電池室と、カメラ幅方向の中央付近の前面上部に配置されたストロボ発光部と、上記ストロボ発光部の後側にあって上記電気基板と上記電池室とで挟まれて形成された縦長空間に、当該縦長方向に長手方向を一致させる向きで配置されたストロボコンデンサとを備えている。

【0009】

本発明の請求項2記載のデジタルカメラは、請求項1記載のデジタルカメラにおいて、上記電池室の前側にカメラ幅方向に沿うような向きに取り付けられ、上記ストロボコンデンサの前側を覆うように配置され、一端が上記鏡筒側方電気基

板の基板面に近接するような電池室前側電気基板を備えている。

【0010】

本発明の請求項3記載のデジタルカメラは、撮影レンズ及び撮像素子を内蔵した撮影レンズ鏡筒と、上記撮影レンズ鏡筒前側の1側面に当該撮影レンズ鏡筒側面より少なくとも一部が突出するように取付けられた、上記撮影レンズを移動させるためのレンズ駆動部と、上記撮影レンズ鏡筒背面側に、上記撮影レンズ鏡筒背面に平行な向きで、かつその一部分が上記撮影レンズ鏡筒背面より上記レンズ駆動部が突出した方向と同じ側面方向にはみ出すように配置された画像表示部と、上記レンズ駆動部と上記画像表示部のはみ出した部分に挟まれた上記撮影レンズ鏡筒の側面にあって、上記レンズ鏡筒の側面に沿って配置された撮像基板とを備えている。

【0011】

本発明の請求項4記載のデジタルカメラは、請求項3記載のデジタルカメラにおいて、上記画像表示部と上記レンズ鏡筒の背面の間に、さらに、上記画像表示部と平行に、上記撮像素子が実装された撮像素子基板が取り付けられる。

【0012】

本発明の請求項5記載のデジタルカメラ用のレンズ鏡筒ユニットは、撮像素子が実装された電気基板と、上記撮像素子へ被写体像を結像させる撮影レンズを内蔵した撮影レンズ鏡筒と、上記撮像素子により得られた画像信号に基づく画像が表示される画像表示部とを備え、上記撮影レンズ鏡筒の背面に上記電気基板を取り付け、さらに、上記電気基板を覆い、かつ、上記電気基板に平行に上記画像表示部を取り付けて一体化させる。

【0013】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図に基づいて説明する。

図1は、本発明の一実施形態のデジタルカメラの外観を示す斜視図である。図2、3は、上記デジタルカメラの内部の配置を示す透視図であって、図2は、被写体側から見た図であり、図3は、上方から見た図である。図4は、上記デジタルカメラの分解斜視図であり、図5は、上記デジタルカメラのレンズ鏡筒まわり



組み立てユニットの分解斜視図である。

【0014】

なお、本実施形態のデジタルカメラの配置に説明において、カメラ幅方向である左右方向（図中のX方向）は、カメラの被写体側から見た左右方向で示すものとする。前後方向（図中のZ方向、すなわち、撮影レンズ光軸Oに沿う方向）は、被写体側を前方、反被写体側を後方、または、背面側とする。上下方向（図中のY方向）は、カメラを通常状態でホールドしたときの上下方向で示すものとする。

【0015】

本実施形態のデジタルカメラ（以下、カメラと記載する）1のカメラ外装2は、前カバーユニット2Aと、中カバーユニット2Bと、後カバーユニット2Cと、コネクタ蓋27と、図示しない電池蓋とからなる。

【0016】

上記前カバーユニット2Aの前面開口部には、沈胴可能な撮影レンズ鏡筒3が配置されている。その撮影レンズ鏡筒3の撮影レンズ43の前面を開閉するレンズバリア15が前カバーユニット2Aの前面部に左右方向にスライド自在に取り付けられている。上記レンズバリア15の開閉は、撮影レンズ43が沈胴位置にあるときに行われる。なお、以下、撮影レンズ鏡筒はレンズ鏡筒と記載する。

【0017】

上記中カバーユニット2Bの上面部には、レリーズスイッチ操作鉗51が配置されている。

【0018】

上記後カバーユニット2Cの背面部には、ファインダ接眼窓部25aと、LCD表示窓部25bと、スイッチ操作鉗群54、55等が配置されている。また、その底面部には、開閉可能な電池蓋（図示せず）が配置されている。

【0019】

さらに、後カバーユニット2Cの左方端部には、上記コネクタ蓋27が開閉回動自在に支持されており、このコネクタ蓋27により外部コネクタ端子部であるビデオ出力端子部64やUSB端子部65、さらに、メモリカード（記録媒体）

挿入用カードスロット63のカード開口部が開閉される。

【0020】

次に、本実施形態のカメラ1の構成を図4を用いて説明する。

本カメラ1は、上述したカメラ外装2としての上記前カバーユニット2A、中カバーユニット2B、後カバーユニット2C、コネクタ蓋27（図示せず）、電池蓋（図示せず）と、上記カメラ外装2内に組み込まれる主な構成部材としてレンズ鏡筒3、LCD表示ユニット11を含むレンズ鏡筒ユニットとしてのレンズ鏡筒まわり組み立てユニット70と、ストロボ発光管49を内蔵するストロボ発光ユニット5と、ファインダ光学系を内蔵するファインダユニット4と、電気基板（A）、（B）、（C）6、7、8と、電源用電池12を収納する電池室24aが設けられる中枠24と、ストロボ発光のための電荷チャージ用のストロボコンデンサ14と、レリーズスイッチ操作鉗51と、さらに、操作スイッチ基板53等を有してなる。

【0021】

上記前カバーユニット2Aは、カメラの前面側の外装であり、金属（アルミニウム等）薄板製の外装部を形成する前カバー板21と、前カバー板21の内部に接着固定される合成樹脂製の組み付け用前カバー枠22とからなる。

【0022】

同様に上記中カバーユニット2Bは、カメラの中央部分の外装であり、金属（アルミニウム等）薄板製の外装部を形成する中カバー板23とからなる。

【0023】

さらに同様に上記後カバーユニット2Cは、カメラの後面側の外装であり、金属（アルミニウム等）薄板製の外装部を形成する後カバー板25と、後カバー板25の内部に接着固定される合成樹脂製の組み付け用後カバー枠26とからなる。

【0024】

上記前カバー枠22と、後カバー枠26とは、図示しないビスを挿通させ、螺着することにより結合され、上記前カバー板21、中カバー板23、後カバー板25により本カメラ1の外装が形成される。

【0025】

上記前カバー板21には、中央上方部にストロボ発光窓33と、ファインダ窓32と、セルフタイマLED窓34が配され、中央下方部にリモートコントロール用窓35が配され、さらに、左方開口部に撮影レンズ用開口部31aを有する前リング31が接着固定される。また、前カバー枠22には前カバー板21の上下位置に左右方向に延びるバリアガイド溝22aが設けられる。

【0026】

上記バリアガイド溝22aには、レンズバリア15がスライド自在に嵌入して取り付けられる。上記レンズバリア15は、撮影レンズ用開口部31aとストロボ発光窓33等を閉鎖する閉位置（右方位置）と開放する開位置（左方位置）にスライド操作が可能である。

【0027】

上記前リング31は、外周右側端部に閉位置にあるレンズバリア15の先端部が当接可能なバリア当接突起31bが設けられており、閉鎖位置にあるレンズバリア15が押圧されたとき、レンズバリア15の先端が上記突起31bに当接することにより前カバー板21の変形が防止される。

【0028】

上記前カバー板21のファインダ窓32の後方位置にファインダ光学系を内蔵するファインダユニット4が配置される。

【0029】

上記前カバー板21のストロボ発光窓33の後方位置にストロボ発光管49を内蔵するストロボ発光ユニット5が配置される。

【0030】

上記中カバー板23には、レリーズ鉗用開口部23aとDC端子用切り欠き部23bが設けられる。レリーズ鉗用開口部23aには、レリーズスイッチ操作用レリーズ鉗51が挿入される。

【0031】

上記中枠24には、左方位置に電池格納空間を備え、かつ、下方開口を有する電源用電池12が挿入可能な電池室24aが設けられ、さらに、その上部に右方

突出部が形成されており、その突出部端に後述するユニット取り付け板48の固定用ビス挿通穴24bが設けられ、同様に中枠24の背面部には、ユニット取り付け板48の固定用ビス挿通穴（図示せず）が設けられる。また、中枠24の右側、かつ、上記右方突出部の下側のスペースには、ストロボコンデンサ14を上下方向に沿って収納できる縦長のスペースが形成されている。

【0032】

上記後カバー板25の背面部には、ファインダ接眼窓部25aと、LCD窓部52と、ズームスイッチ釦群54およびモード設定釦群55が配置され、さらに、後カバー板25の内部には、上記ズームスイッチ釦群54およびモード設定釦群55により操作される操作スイッチ基板53が配置される。

【0033】

上記後カバー枠26には、左方下部にDC-IN端子用開口部26aと、底面部に開閉可能な電池蓋（図示せず）を有する電池挿入用開口部26bが設けられる。

【0034】

上記電気基板(A)6は、主に電源回路部が実装されている。

【0035】

上記電気基板(B)7は、電池室前側基板としてのメイン制御基板であって、画像処理回路や各種の制御回路部が実装されており、さらに、ビデオ出力コネクタ端子64とUSBコネクタ端子部65が撮像基板10側との接続用コネクタ61とメモリカードが装着可能なカードスロット63等が実装されている。上記カードスロット63は、後カバー枠26の左端面のカード開口部内側に位置している。上記端子部64, 65は、後カバー枠26の左端面の端子開口部内側に位置している。

【0036】

上記電気基板(C)8は、主にストロボ制御回路部やストロボコンデンサ14が実装されており、さらに、DCコネクタ端子66が実装されている。上記端子66は、後カバー枠26の右端面のDC端子開口部26a内側に位置している。

【0037】

上記電気基板（A），（B）6，7は、中枠24の前方側に所定距離離間させて固定支持され、上記電気基板（C）8は、中枠24の右側に突出した状態で固定支持される。そして、後述するようにカメラ組み立て状態では、電気基板（A），（B）6，7が電池室24aの前側でレンズ鏡筒3の左方側、また、電気基板（C）8がレンズ鏡筒3の下側にそれぞれ配置される。

【0038】

上記レンズ鏡筒まわり組み立てユニット70は、図4，5に示すようにレンズ鏡筒3と、鏡筒側方電気基板としての撮像基板10と、レンズ駆動部13と、画像表示部であるLCD表示ユニット11と、ユニット取り付け板48とを有しており、1つのユニットとして組み立てられる。

【0039】

上記レンズ鏡筒3は、外周に防水用パッキン44が装着された固定枠41と、固定枠41に光軸O方向に進退移動可能に支持され、撮影レンズ43を保持する移動枠42と、鏡筒内部の撮影レンズ43の結像面位置にCCD46が実装されている撮像素子基板としてのCCD基板9とを有してなる。

【0040】

上記CCD基板9は、上記固定枠41の背面（レンズ鏡筒背面）上にその主平面（最も広い面、または、機能上主要な面）を光軸Oに直交させた状態で固定支持され、鏡筒内面側の撮影レンズ43の結像面位置に撮像素子であるCCD46が実装されている。さらに、CCD基板9の鏡筒外面側には撮像回路の一部が実装されている。

【0041】

上記レンズ駆動部13は、上記固定枠41の前方側左方向に突出した状態で配置され、内部にギヤ列等の駆動力伝達部を内蔵し、下方位置にはレンズ駆動源となる駆動モータ45が設けられていて、移動枠42を移動させ、沈胴動作、および、ズーム調整を行わせる。

【0042】

ユニット取り付け板48は、CCD基板9のための逃げ開口部48aと、その周囲に配されるビス挿通穴48bと、上方折り曲げ突出部に配置されるビスネジ

穴48cと、下部左方突出部に配されるビスネジ穴48dと、下部右側折り返し突出部に配されるビスネジ穴48eとが設けられる金属板製の取り付け板である。このユニット取り付け板48は、固定枠41の光軸Oと直交する背面に配されるビスネジ穴41bにビス挿通穴48bを介してビスを螺着することによって固定枠41の背面上に固定される。

【0043】

上記LCD表示ユニット11は、撮影画像、または、各種情報データを表示するLCDを有しており、LCD表示面を光軸Oと直交し、背面側に向かた状態で上記ユニット取り付け板48の背面に両面接着テープで貼り付け、固定される。上記固定状態でLCD表示ユニット11は、その一部分がレンズ鏡筒3の固定枠41の背面側方にはみ出した状態となる。

【0044】

上記撮像基板10は、上記撮像回路の他の一部、および、電気基板(B)との接続用コネクタ62が実装されており、上記CCD基板9とフレキシブルプリント基板47を介して接続される。この撮像基板10は、上記レンズ駆動部13の突出部分とLCD表示ユニット11の上記固定枠41の左方側突出部とに挟まれたスペースに位置し、その基板主平面が光軸Oと平行、かつ、基板長手方向が縦方向(上下方向)に沿った状態で固定枠41に固定支持される。

【0045】

上述したようにレンズ鏡筒まわり組み立てユニット70は、レンズ駆動部13、CCD基板9等が装着されたレンズ鏡筒3の固定枠41に対して撮像基板10、ユニット取り付け板48、LCD表示ユニット11が組み付けられ、ユニット化される。

【0046】

上述したカメラ1の上記各構成部材をカメラ1のカメラ外装2内への組み込む場合、図4等に示すように、まず、前カバーユニット2Aの内面部にストロボ発光ユニット5を接着固定し、さらに、レンズバリア15をガイド溝22aに挿入し、スライド自在に取り付けた状態とする。

【0047】

また、上記電気基板（A）、（B）、（C）6、7、8が固定支持されており、上記中枠24にユニット取り付け板48を介して上記ユニット化されたレンズ鏡筒まわり組み立てユニット70を取り付け、カメラ内蔵ブロックとして組み立てる。すなわち、ビスを中枠24のビス挿通穴24bおよび図示しない他のビス挿通穴に挿通させ、上記ユニット取り付け板48の上方折り曲げ突出部のビスネジ穴48c、および、下部左方突出部のビス挿通穴48dにそれぞれにビスを螺着することによって、中枠24とレンズ鏡筒まわり組み立てユニット70とが一体化される。そして、電気基板（C）8のDC端子側に設けられるビス挿通穴8aに挿通させたビスをユニット取り付け板48のビスネジ穴48eに螺着して、電気基板（C）8の先端部をユニット取り付け板48に固定する。また、撮像基板10の接続コネクタ62を電気基板（B）7の接続コネクタ61に接続する。さらに、上記レンズ鏡筒3の固定枠41の上方部にファインダユニットを取り付け、固定支持する。

【0048】

上記レンズ鏡筒まわり組み立てユニット70および各電気基板等からなるカメラ内蔵ブロックを前カバーユニット2Aと後カバーユニット2Cの内側に挟持した状態で覆い、図示しないビスを後カバー枠26を挿通させ、前カバー枠22のビスネジ穴（図示せず）に螺着することによってカメラ1として完成する。

【0049】

上記カメラ組み立て状態において、レンズ鏡筒3の固定枠41の前端部は、前カバーユニット2Aに装着されている前リング31の内周部に嵌合して取り付けられるが、その嵌合状態で固定枠41の外周に設けられるパッキン44は、前リング31の内周面にU字断面形状に変形して挿入され、レンズ鏡筒3と前カバーユニット2A間の嵌合隙間の防水がなされる。上記挿入されたレンズ鏡筒3の移動枠42は、前リング31の撮影レンズ用開口部31aに図示しない防水用パッキンを介して嵌入し、撮影不可能な沈胴位置から前方に突出する撮影可能な位置の間を進退可能となる。さらに、移動枠42が上記沈胴位置にあるとき、上記移動枠42および撮影レンズ43の前面は、レンズバリア15により覆われる。レンズバリア15は、上記移動枠42および撮影レンズ43の前面から退避する開

放位置にスライド移動されると、移動枠42は、自動的に上記撮影可能位置に繰り出される。上記レンズバリア15が撮影レンズ43の前面を覆う閉鎖位置にあるとき、レンズバリア15が使用者によって押圧された場合、レンズバリア15の先端部が前リング31の突出部31bに当接するので金属薄板製の前カバー板21が変形することが避けられる。

【0050】

ここで、上記組み立て状態にあるカメラ1の内部の各構成部材の配設位置関係について、図2、3等を用いて説明する。

本実施形態のカメラ1において、レンズ鏡筒3は、カメラ外装2のX方向（カメラ幅方向）右側位置に配置される。CCD基板9に接続される撮像基板10は、上記レンズ鏡筒3の左側の側面にて光軸Oの側方にてX方向に垂直な方向に沿って配置される。LCD表示ユニット11は、レンズ鏡筒3の背面部にその表示面が光軸Oと直交する方向の沿った状態で配置される。電池12を格納する電池室24aは、その主平面がX方向に沿った左状態でX方向の左側に配置される。ストロボ発光ユニット5は、X方向の略中央の上部位置に配置される。ストロボコンデンサ14は、上記ストロボ発光ユニット5の後側位置であって、上記電池室24aと上記撮像基板10によって挟まれる縦長の空間にコンデンサの長手方向を縦長方向に合わせた状態で配置される。さらに、電池室外側電気基板である電気基板（B）7は、上記電池室24aの前面側であり、上記ストロボコンデンサ14の背面を覆うような状態でその主平面がX方向に沿っており、かつ、その右側先端部が上記撮像基板10に接近した状態で配置される。

【0051】

なお、上記LCD表示ユニット11は、レンズ鏡筒3の固定枠41に対してその背面部にて左方向、右方向にはみ出すように突出する状態で支持されている。また、レンズ鏡筒3の背面部には、CCD46が実装されたCCD基板9が配置されているが、そのCCD基板9の主平面は、上記LCD表示ユニット11と平行な方向に沿って支持されている。上記LCD表示ユニット11の左方突出部と、固定枠41の前方の左側に突出して配置されるレンズ駆動部13とに挟まれた空間に上記撮像基板10が位置している。

【0052】

また、ストロボ発光ユニット5の発光部およびファインダユニット4の対物窓部は、それぞれ前カバー板21のストロボ窓部33およびファインダ窓部32の内部後方に位置する。また、電気基板（B）7にビデオ出力端子部64やUSB端子部65やカードスロット63に対応する各開口部は、コネクタ蓋27により同時に開閉される。電気基板（C）に実装されるDC-IN端子66は、後カバー枠26のDC-IN端子用開口部26aの内方に位置する。さらに、上記電池12は、後カバー枠26の底面部の電池室開口26bより電池室24aに装填可能である。

【0053】

以上、説明したような構成と配置を有する本実施形態のカメラ1により撮影を行う場合は、まず、電池12を電池室24aに装填し、カードスロット63にメモリカードを装着する。そこで、レンズバリア15を左方向に向けてスライド移動させ、撮影レンズ43の前面を開放させると、移動枠42が撮影可能位置に繰り出される。その繰り出し状態でレリーズスイッチ操作鉗51を押圧すると、被写体像の電気信号がCCD46にて生成され、画像処理された被写体像画像データが上記メモリカードに記録される。

【0054】

上述したように各構成部材が配置された本実施形態のデジタルカメラ1では、カメラ右側に配置され、CCD基板9を有するレンズ鏡筒3に対してその背面側にLCD表示ユニット11を配置し、さらに、左側に撮像基板10を配置し、ユニット化した状態でレンズ鏡筒まわり組み立てユニット70が組み立てられる。したがって、カメラのコンパクト化、特に薄型化に寄与すると同時にカメラの組み立て作業が容易となる。さらに、カメラの左側に電池室24aと、電気基板（A）、（B）6、7を配置し、カメラ中央上部にストロボ発光ユニット5を配置して、上記ストロボ発光ユニット5の後方であって上記電池室24aと上記レンズ鏡筒3とに挟まれた縦長空間にストロボコンデンサ14を収納するようにしたので、このデジタルカメラ1によると、カメラが本来有する機能を損なうことなくカメラの小型化および薄型化が可能になり、携帯性のよい使い勝手の優れたデ



ジタルカメラを提供できる。

【0055】

【発明の効果】

上述のように本発明によれば、構成部材のユニット化を行って組み立てを容易にし、さらに、内部構成部材の配置を効率的に行なって、カメラが本来有する機能を損なわぬで小型化を実現したデジタルカメラ、または、デジタルカメラ用のレンズ鏡筒ユニットを提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施形態のデジタルカメラの外観を示す斜視図である。

【図2】

上記図1のデジタルカメラの内部の配置を示す透視図であって、被写体側から見た図である。

【図3】

上記図1のデジタルカメラの内部の配置を示す透視図であって、上方から見た図である。

【図4】

上記図1のデジタルカメラの分解斜視図である。

【図5】

上記図1のデジタルカメラのレンズ鏡筒まわり組み立てユニットの分解斜視図である。

【符号の説明】

3 …レンズ鏡筒（撮影レンズ鏡筒）

5 …ストロボ発光ユニット

（ストロボ発光部）

7 …電気基板（B）

（電池室前側電気基板）

9 …C C D基板

（撮像素子基板，

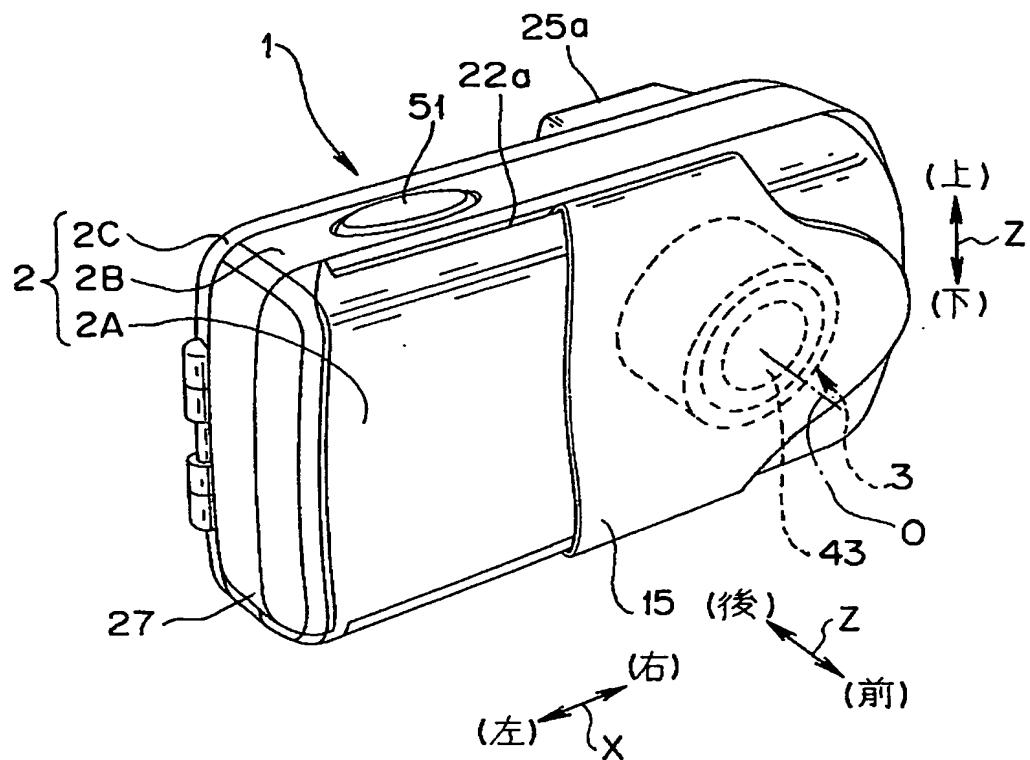
(撮像素子が実装された基板)

- 1 0 …撮像基板（鏡筒側方電気基板）
- 1 1 …LCD表示ユニット（画像表示部）
- 1 3 …レンズ駆動部
- 1 4 …ストロボコンデンサ
- 2 4 a …電池室
- 7 0 …レンズ鏡筒まわり組み立てユニット
(レンズ鏡筒ユニット)

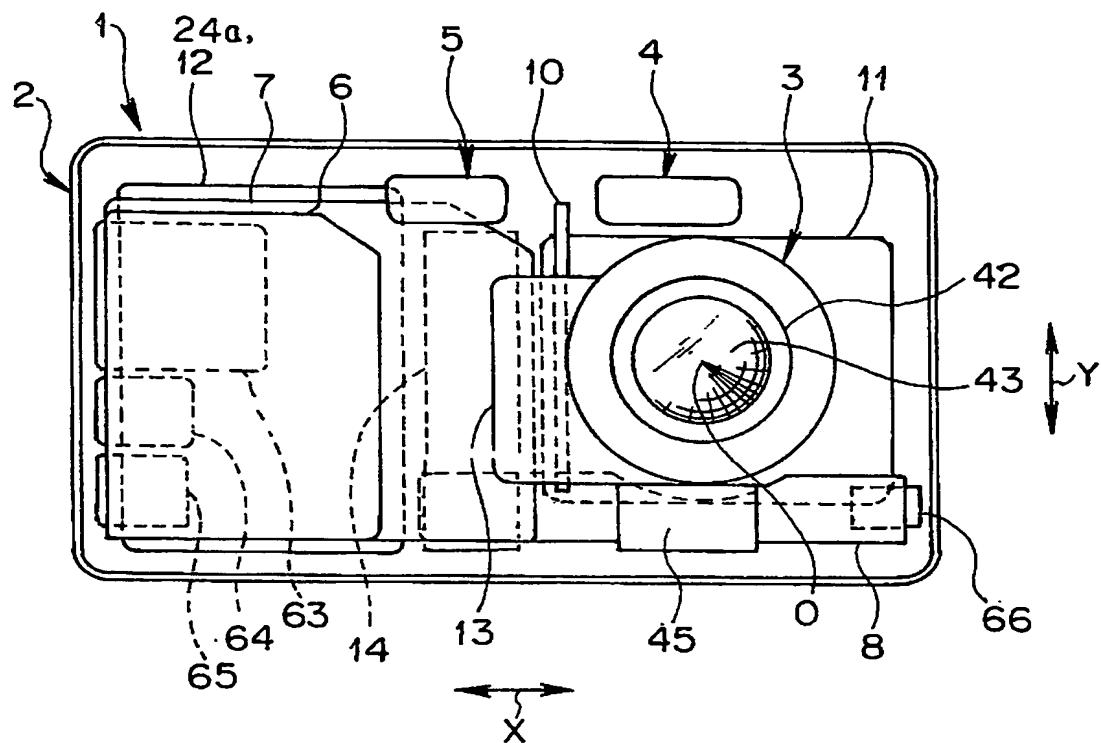
代理人 弁理士 伊藤 進

【書類名】 図面

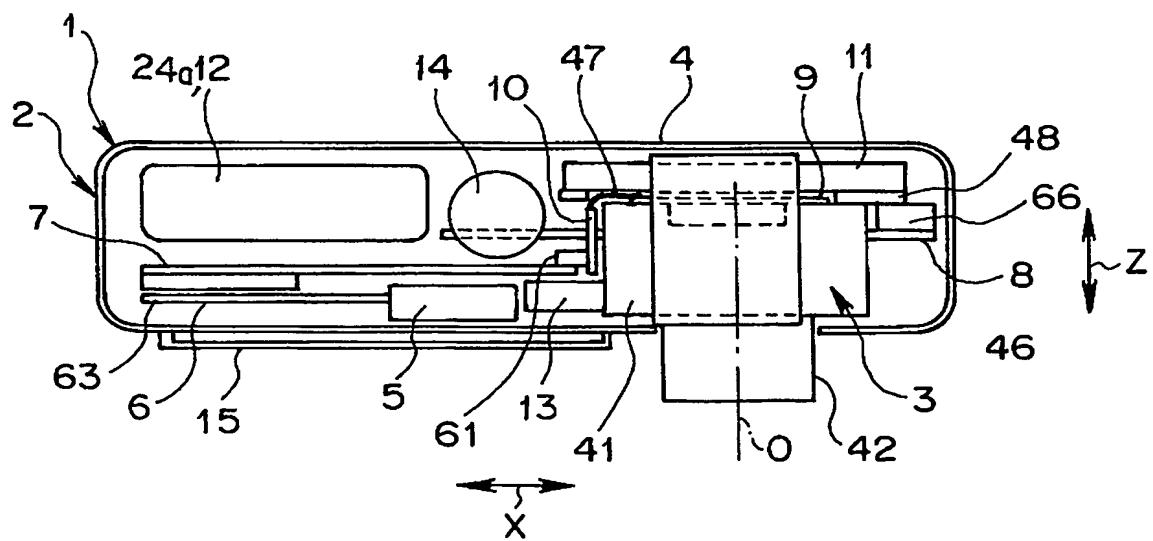
【図1】



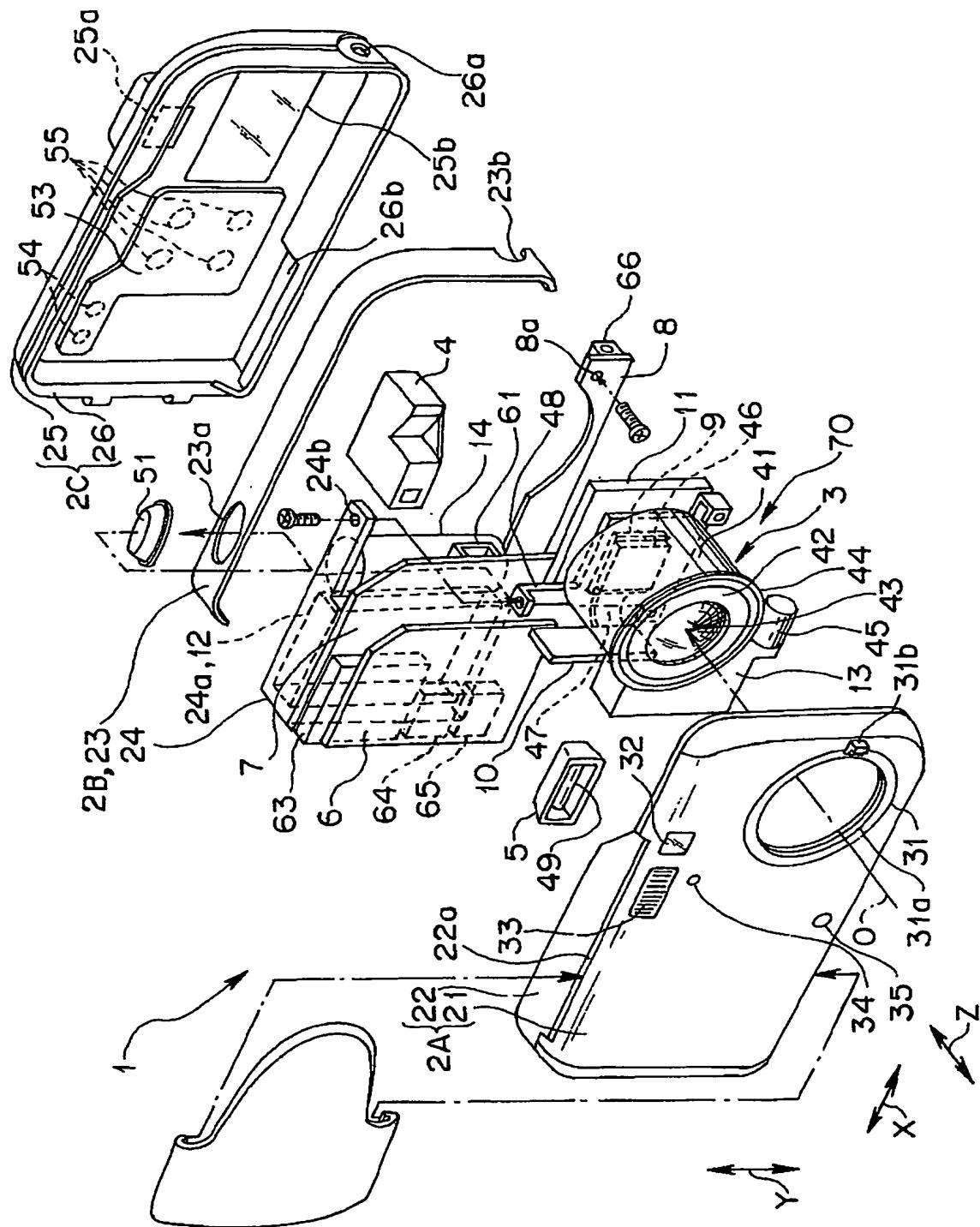
【図2】



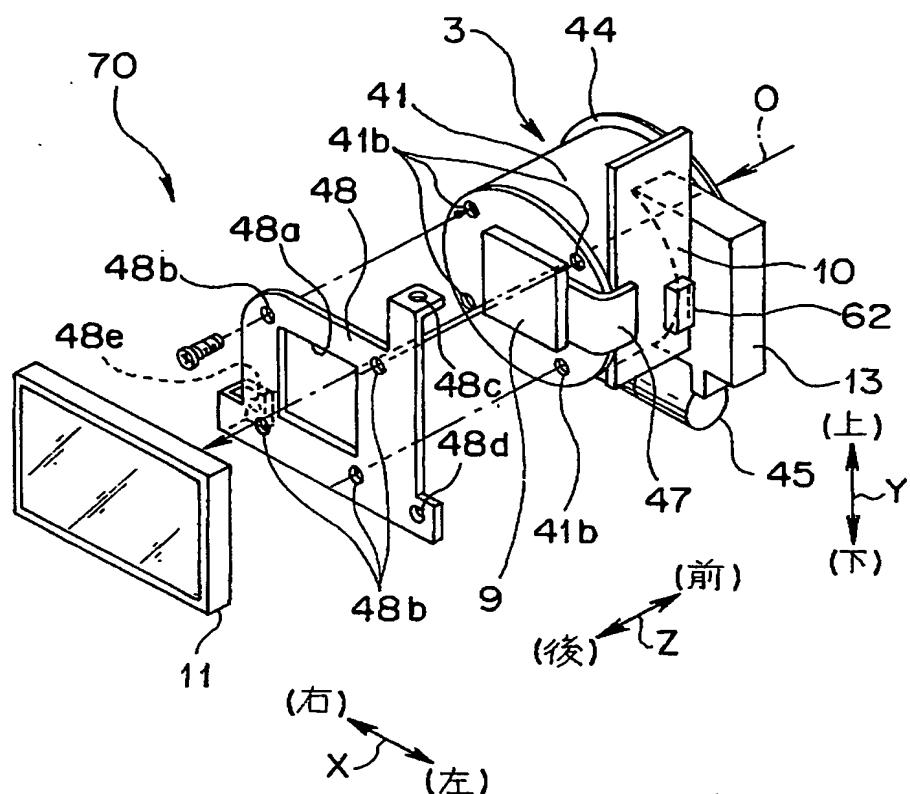
【図3】



【図4】



【図 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 内部構成部材の配置を効率的に行なって、カメラが本来有する機能を損なわずに小型化が実現可能なデジタルカメラを提供する。

【解決手段】 このデジタルカメラ1では、カメラ右側に配置され、CCD基板9を有するレンズ鏡筒3に対してその背面側にLCD表示ユニット11を配置し、さらに、左側に撮像基板10を配置した状態でレンズ鏡筒まわりがユニット化されて組み立てられ、さらに、カメラの左側に電池室24aと、電気基板(A), (B)6, 7を配置し、カメラ中央上部にストロボ発光ユニット5を配置し、そのストロボ発光ユニット5の後方であって上記電池室24aと上記レンズ鏡筒3とに挟まれた縦長空間にストロボコンデンサ14を収納するようにして、カメラが本来有する機能を損なうことなくデジタルカメラの小型化および薄型化を実現可能とする。

【選択図】 図2

出願人履歴情報

識別番号

[000000376]

1. 変更年月日

[変更理由]

住 所

氏 名

1990年 8月20日

新規登録

東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号

オリンパス光学工業株式会社

2. 変更年月日

[変更理由]

住 所

氏 名

2003年10月 1日

名称変更

東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号

オリンパス株式会社